

### 上毛龍神太鼓 【3年目】

和太鼓をとおして地域に元気と活力をみなぎらせようと活動し、今年度はイベントなどで計16回演奏し、目標達成率は145%だそうです。3年間の補助で道具もある程度そろい、今後は自己負担になるものの、好きでやっているのので続けていきますとのことでした。

町内のほか、豊前市や中津市、遠くは飯塚市まで演奏に出かけ、上毛町のPRにも一役買ってくれました。会場からは、活発な活動を賞賛しながら、無理なく続けてほしいとの声がありました。



～友枝プロジェクト18 生き生き生活～

### 原井婦人会 【3年目】

地元特産品から加工品を作ったり、地域の環境整備、史跡の維持活動などに取り組んできました。なかでも梅ドレッシングは、今年度の福岡県6次化商品コンクールに出品したほか、東京目黒の柿の木坂マルシェに出荷するまでになったそうです。

今後の活動については“ソーシャルパッチワーク”を掲げ、3年間の活動で培った様々なつながりを活かし、声を掛け合いながら地域の発展に繋げていきたいとのことでした。講師の古賀さんは、全国的に難しくなっている婦人会活動を続けていることに感嘆しながら、ドレッシングのパッケージも高評価でした。



～唐原プロジェクト05 地元の特産品、17 寺町の風格～

### こうげ音楽倶楽部 【3年目】

団員の趣味の音楽を活かした地域活性化と、地域の方が集まる場所での活動により地元施設の利用を増やすことを目指してきました。今年度は自主事業や地域のイベントに参加するなどして、特に11月に懐旧館で開催した国府弘子スペシャルトリオライブでは、100名を超える観客が国内第一線の演奏に酔いしれたそうです。

発表の最後にはメンバーのオリジナル曲“西友枝の春”が演奏されました。古賀さんは、綿密な計画を立てているのが良く、自己資金の調達にもそれを役立ててほしいと今後に期待されていました。



～友枝プロジェクト14 旧中央公民館の利用、18 生き生き生活～

### 宇島鉄道研究会 【1年目】 ～町全体プロジェクト10 史跡伝承、西吉12 文化遺産アピール、唐原03宇島鉄道跡地を魅せる～

地域の歴史的産業遺産である宇島鉄道を称え、後世に受け継いでいこうと結成されました。路線跡の遺構や遺物を収集・展示するほか、駅跡に看板を設置するなど活動してきました。

昨年7月から8月にかけて豊前市立図書館で開催した「宇島鉄道展」では、当時の切符や時刻表、犬釘や写真を展示したほか、路線跡を辿ったビデオを流しました。会場からは豊前市と上毛町にまたがる史跡を、広くPRしてファンや会員を増やしてほしいと期待が寄せられました。



### くまさんキッチン 【1年目】

地元産食材を活用した親子ふれあいクッキング教室を中心に活動してきました。春夏秋冬4回の教室では、親子が楽しみながら参加し、回を重ねるごとに人数が増えていったそうです。野菜の切れ端も残さず調理したり、講師とのやりとりの経費を抑えたりと工夫も重ねました。

来年度は上毛町産調味料にも力を入れながら、楽しいクッキング教室を開催したいとのことでした。古賀さんからは、調味料の商品開発について、とてもパワーが必要なので、すでに取り組んでいる方との協力などが勧められました。



～町全体プロジェクト06 上毛印のブランド化、友枝10 食育・地産地消～

# 地域づくり活動事業成果発表会

## ～ひろがる活動 無理なく楽しく続けよう～

3月5日(日)、懐旧館にて平成28年度地域づくり活動事業成果発表会を開催しました。平成20年度から始まった地域づくり活動支援事業も9年目を迎え、これまでに47の団体が地域づくり活動団体として認定を受け、コミュニティ計画に掲げた88プロジェクトの実現に向けて取り組んでいます。

今年度も、ふくおかNPOセンターから古賀桃子さんを講師にお招きし、120人を超える方が集まりました。5団体が一年間の実績と今後に向けた計画を発表し、来年度の補助を希望する2団体の計画はともに承認されました。

地域づくり協議会の山下会長からは、発表の準備をねぎらいつつ今後の継続に繋がるよう期待する声がありました。古賀さんからは、“ネットワーク・連携・協働”をキーワードに、自分たちの努力だけでは行き詰まってしまう活動も、町の地域づくりの先輩と連携することで打開できることもあるとアドバイスがありました。また上毛町の地域づくり活動については、毎年ステップアップしていると感じられたそうです。

いよいよ10年目を迎える地域づくり活動の、これからの展開に期待が寄せられます。



■ 山下地域づくり協議会会長



■ 古賀桃子さん



■ 審査結果を発表する川口副町長

